

# 磐梯山山行報告

【山行日】2024年 10月 27(日) 快晴

【集 合】栃木市運動公園P AM 5:00

【費 用】マイカー1台 : 3,500円

【メンバー】CL:鈴木、SL:藤原ト

飯野、神田、鈴木ミ、根本、渡邊カ

【コースタイム】栃木市運動公園P5:00＝

八方台 P7:05/7:20～中の湯分岐 8:00/8:10～

銅沼 8:30/8:40～裏磐梯登山道分岐 9:00～

噴火口分岐 9:40～表登山道分岐 10:00/10:10～

弘法清水小屋 11:00/11:20～磐梯山 11:50/12:30

～弘法清水小屋 12:50～中の湯 13:50/14:00～八方台P14:30/14:45＝道の駅「猪苗代」15:10/15:30

＝栃木市運動公園P17:40

山行アンケートで磐梯山のリクエストがあり、急登だがダイナミックな爆裂口を登るコースを計画した。栃木市運動公園を5:00に出発し、東北道から磐越道を走り八方台登山口駐車場に車を止める。



駐車場はほぼ満車で、かろうじて奥の駐車スペースに車を止める。このすぐ下にも広い駐車場があるが、こちらの駐車場にはトイレと大きな休憩舎が併設されている。出発の準備を整えてトイレを済ませ、ストレッチを行ったら出発する。道路を横切ると登山口があり、ブナの紅葉の道を緩やかに登って行く。紅葉を楽しみながら登ると傾斜がきつい登りになり、やがてなだらかな道になると中の湯跡に着き、休憩して衣服調整と水分補給を行なう。ここから磐梯山に向かって登るとす

ぐに分岐に出て、左に急坂を下って裏磐梯スキー場への道を進む。分岐を直進すれば2時間30分で山頂に登れるが、ここは景観が素晴らしい裏磐梯登山道へ向かう。沢沿いの急坂をしばらく下り、平坦な道を歩くようになるとやがて銅沼に着く。1888年7月15日の磐梯山噴火により堰き止められて出来た沼で、鉄分が強い為沼の底が赤く見えるため銅沼(あかぬま)と呼ばれている。沼の畔で休憩し、リンゴや菓子をいただく。ここから少し下ると裏磐梯スキー場の上部に出て、檜原湖などの眺望が素晴らしい。眺望を楽しんだら右にUターンするように下り、少し先から標識に従って右に裏磐梯コースを進む。



樹林帯の中を緩やかなアップダウンを繰り返して登り、豪雨による土石流跡に出ると展望が開け爆裂口の中にいることを実感する。小休止してリンゴや菓子をいただき、爆裂口の光景を楽しんだら



出発する。土石流の中の岩に付けられたペンキマークを頼りに進み、いよいよ爆裂口の岩壁を登る急登が始まる。急な登山道には鉄のポールが打ち込まれてあり、ポールに掴まりながら登って行く。この急登はハンパ無く、皆さんとても辛そうに登って来る。最近のヤマレコの山行報告を見るとここを下りに使う報告がほとんどだが、ここを登ってこそ稜線に登った時の感動が大きいのだと思う。途中、展望が良い箇所が何箇所か有り、小休止してダイナミックな爆裂口の展望

を楽しむ。ようやく稜線まで登り着き振り返ると展望が素晴らしい。急勾配の登山道を登って来た人だけが得られる御褒美である。少し先の小ピークで休憩し、異次元の大展望を満喫したら山頂へ向かう。火口壁の上を歩く道は快適だったが、その先の岩がゴロゴロした登りは辛かった。

開けた平坦地に出ると弘法清水と言われる冷たい湧水があり、2軒の茶店が建っている。茶店で暖かいお茶を振舞ってくれ、とても美味しくいただいた。元気をもらって山頂への急登に向かい、一步一步着実に登って行く。この道はいくつかの登山道から登って来るので、大勢の登山者が登って行く。下って来る登山者も多いので混雑し、思うようには登れない。ようやく磐梯山頂に着き、大展望を楽しんだ後記念写真を撮る。山頂でランチタイムとし、それぞれ好きな場所に腰を下す。お湯を沸かしてカップ麺やスープを作り、おにぎりやパンをいただいた。皆さん山頂でのランチは嬉



しいようで、展望を楽しみながら会話が弾んでいた。ランチが済んだら下山開始し、往路を戻って弘法清水まで下る。ここから火口壁の縁を回って八方台への登山道を下って行く。急な下りだが紅葉が陽射しを受けて輝いており、会話を楽しみながらグングン下って行き中の湯跡で最後の休憩を取る。この先は傾斜もゆるく安心して歩け、ブナの紅葉を楽しみながら駐車場に着く。駐車場に着いて驚いたが、八方台辺りは丁度紅葉が見頃で素晴らしい。朝はまだ陽射しが無く気づかなかったが、西日を受けた紅葉は真っ赤



に輝いていた。靴を履き替えトイレを済ませたら帰路に着き、途中の道の駅「猪苗代」でお買い物。高速道路も大きな渋滞が無く順調に走り、予定通り栃木市運動公園に帰着した。